一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Assosiation for Day Care

令和４年度

在宅リハビリテーション
エキスパート・ジェネラリストコース

あなたはエキスパートを目指しますか？ジェネラリストを目指しますか？
オールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを目指しませんか？

当会では 2021 年度より、「在宅リハビリテーション エキスパート・ジェネラリストコース　（在宅リハ EG コース）」を開設しました。多様な知識・技術が求められる在宅リハビリテーションにおいて、自職種の知識のみに捕らわれず、あらゆるケースに対しオールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期（在宅）リハビリテーションの質の向上に寄与することを目的としています。

プログラムは、在宅リハビリテーションに関する総論から幅広い分野の各論を網羅するため、各分野の専門家に講師としてご登壇いただき、講師とのディスカッションやグループワークを通じて見識を深める内容となっています。

他には無い充実したセミナーとなっていますので、奮ってご参加ください。

※『エキスパート・ジェネラリスト』とはビルゲイツも提唱し以下の効果があると言われている。

1)　特定の分野やコミュニティに偏るバイアスの影響を受けにくいことから、より正確な予測、判断ができる。
2)　ある分野で上手くいった事例を別の分野に横展開で生かすことで、画期的なアイディアを生み出せる。
3)　エキスパート・ジェネラリストが異なる分野の人たちのコネクターとなって繋ぐことで、よりオープンなネットワークを築ける。

セミナー概要

【研修日程】　全 4 クール（各 3 日間）

① 2022 年 6 月 17 日（金）～19 日（日）

② 2022 年 9 月 16 日（金）～18 日（日）

③ 2022 年 12 月 9 日（金）～11 日（日）

④ 2023 年 3 月 3 日（金）～5 日（日）

【研修会場】　**オンライン開催（感染状況によって会場開催を検討）**

【研修費用】　￥120,000

【対　　象】　全国デイ・ケア協会会員施設のスタッフで、以下の条件に当てはまる方

- ◆ 施設長の推薦を得られる 専門職での経験 8 年以上の方
- ◆ 医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・歯科衛生士　のいずれかであること
- ◆ すべてのプログラムにご参加できる方

【研修内容】　別紙参照

【定　　員】　30 名

【研修申し込み】　下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

〈申し込みフォーム URL〉
https://business.form-mailer.jp/fms/2f840265161297

〈申し込みフォーム〉

【申込〆切】　令和 4 年 5 月 31 日（火）

地域でその人の暮らしを支援するには幅広い知識と技術、他職種との協業・協力が必須になります。自職種の知識のみに捉われず、あらゆるケースに対しオールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期（在宅）リハビリテーションの質の向上に寄与したいと考えています。是非共に学びましょう。

【修了証発行の流れ】

①受講申し込み

↓

②受講確定（確定メールをお送りいたします）

↓

③第 1 クール受講（6 月 17～19 日）

↓

④第 2 クール受講（9 月 16～18 日）

↓

⑤第 3 クール受講（12 月 9～11 日）

↓

⑥第 4 クール受講（3 月 3～5 日）

↓

⑦修了試験（第 4 クール最終日に実施）

↓

⑧合格後修了証発行・送付

【講義テーマ一覧】

※次頁をご覧ください

NO.	講義名	講師	所属	役職
1	在宅リハビリテーション総論	近藤 国嗣	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	会長
2	通所リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	岡野 英樹	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	理事
3	訪問リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	宮田 昌司	一般社団法人　日本訪問リハビリテーション協会	会長
4	在宅生活者に対する施設リハビリ（老健）の果たすべき役割と他事業所連携	野尻 晋一	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	理事
5	通所介護の果たすべき役割と他事業所連携	小室 貴之	株式会社楓の風	代表
6	訪問看護の果たすべき役割と他事業所連携	高砂 裕子	一般社団法人　全国訪問看護事業協会	副会長
7	ケアマネジメントの理解と自立支援	能本 守康	一般社団法人　日本介護支援専門員協会	常任理事
8	在宅リハに求められる必要な評価と解釈	澤潟 昌樹	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	理事
9	在宅リハに必要な診療報酬・介護報酬のポイント	近藤 国嗣	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	会長
10	精神疾患を有する在宅生活者に対する必要な知識とその対応	三根 浩一郎	公益社団法人　全国老人保健施設協会	副会長
11	内部疾患の在宅リハビリテーション	海老原 覚	東邦大学	教授
12	フレイル・サルコペニアに対する評価と支援	山田 実	筑波大学	教授
13	がん患者の在宅リハビリテーション	辻 哲也	慶應義塾大学	教授
14	認知症の理解とその対応	安原 千亜希	医療法人大誠会	リハビリ統括部 副部長補佐
15	在宅における神経・筋疾患患者に対する必要な知識とその対応	原 元彦	帝京大学医学部附属溝口病院	教授
16	在宅リハに必要な摂食・嚥下機能の評価と応用	戸原 玄	東京医科歯科大学	教授
17	排泄学　排尿・排便の仕組みと在宅における支援	西村 かおる	NPO 法人 日本コンチネンス協会	名誉会長
18	在宅リハにおける倫理的配慮と事故対応	鈴木 雄介	鈴木法律事務所	弁護士／医師
19	在宅リハビリテーションに必要な脳卒中患者の歩行再建と装具療法	近藤 国嗣	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	会長
20	在宅に必要なフィジカルアセスメントの知識とリスク管理の方法と実際	宮越 浩一	医療法人鉄蕉会　亀田総合病院	リハビリテーション科　部長
21	作業工程分析に基づく ADL の評価とその対応	坂田 祥子	東京湾岸リハビリテーション病院	リハビリテーション部　副部長
22	活動参加に効果的に働きかける生活行為向上マネジメント	土井 勝幸	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	副会長
23	在宅支援に求められるコミュニケーションスキル	取出 涼子	医療法人社団輝生会	人財育成局　部長
24	在宅リハ支援の中で人生の最終段階における意思決定支援に必要な知識とその対応	佐原 まち子	一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所	代表理事
25	在宅リハに必要な栄養学とその対応	近藤 国嗣	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	会長
26	在宅リハ支援に必要な住環境整備の理解と実践	水越 良行	株式会社ヤマシタ　ホームケア事業本部 営業統括部　人財開発課	副課長
27	在宅リハビリテーションにおける転倒予防	大高 洋平	藤田医科大学	教授
28	就労支援に必要な制度の理解と効果的な実践例	佐伯 覚	産業医科大学	教授
29	かかりつけ医の役割と連携における工夫	石垣 泰則	医療法人社団仁生堂　大村病院	院長
30	発達障害児小児に対する必要な知識とその対応	和田 勇治	日本医科大学千葉北総病院	リハビリテーション科　部長
31	在宅リハにおける失語症者の支援と対応	山本 徹	医療法人社団永生会　法人本部	リハビリ統括管理部
32	在宅生活を送る高次脳機能障がい者の支援	橋本 圭司	昭和大学医学部リハビリテーション医学講座	准教授
33	総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の基礎知識と関わり	未定	厚生労働省　老健局　老人保健課	
34	在宅リハビリテーションにおける情報管理	染谷 和久	医療法人真正会　情報戦略室	室長
35	事業所運営と事業戦略の考え方と業務改善による生産性向上への取り組み方	岡野 英樹	一般社団法人　全国デイ・ケア協会	理事